



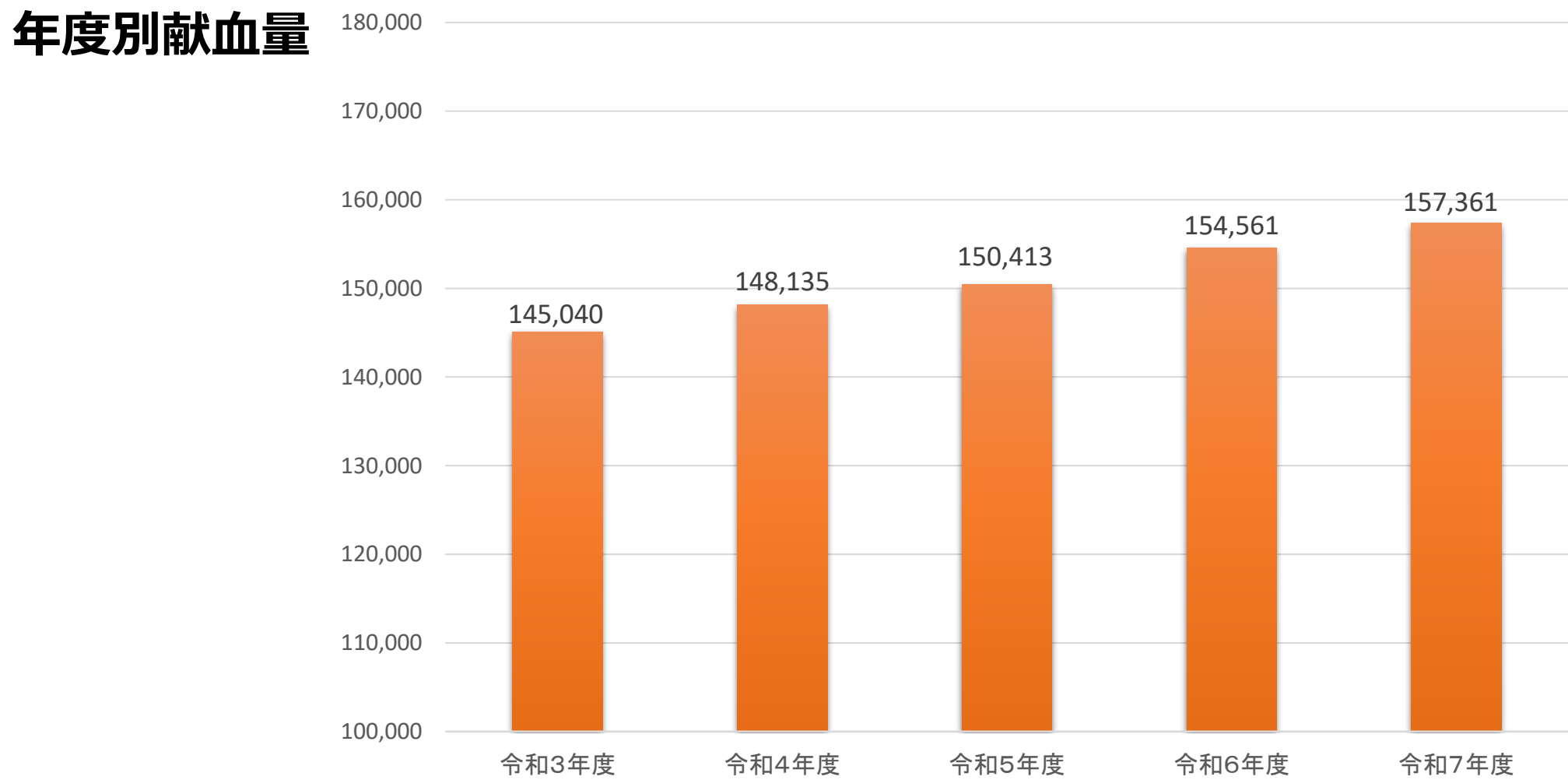
資料2

令和8年度の献血推進に係る取組の進め方

令和8年7月28日

神奈川県献血推進協議会 事務局

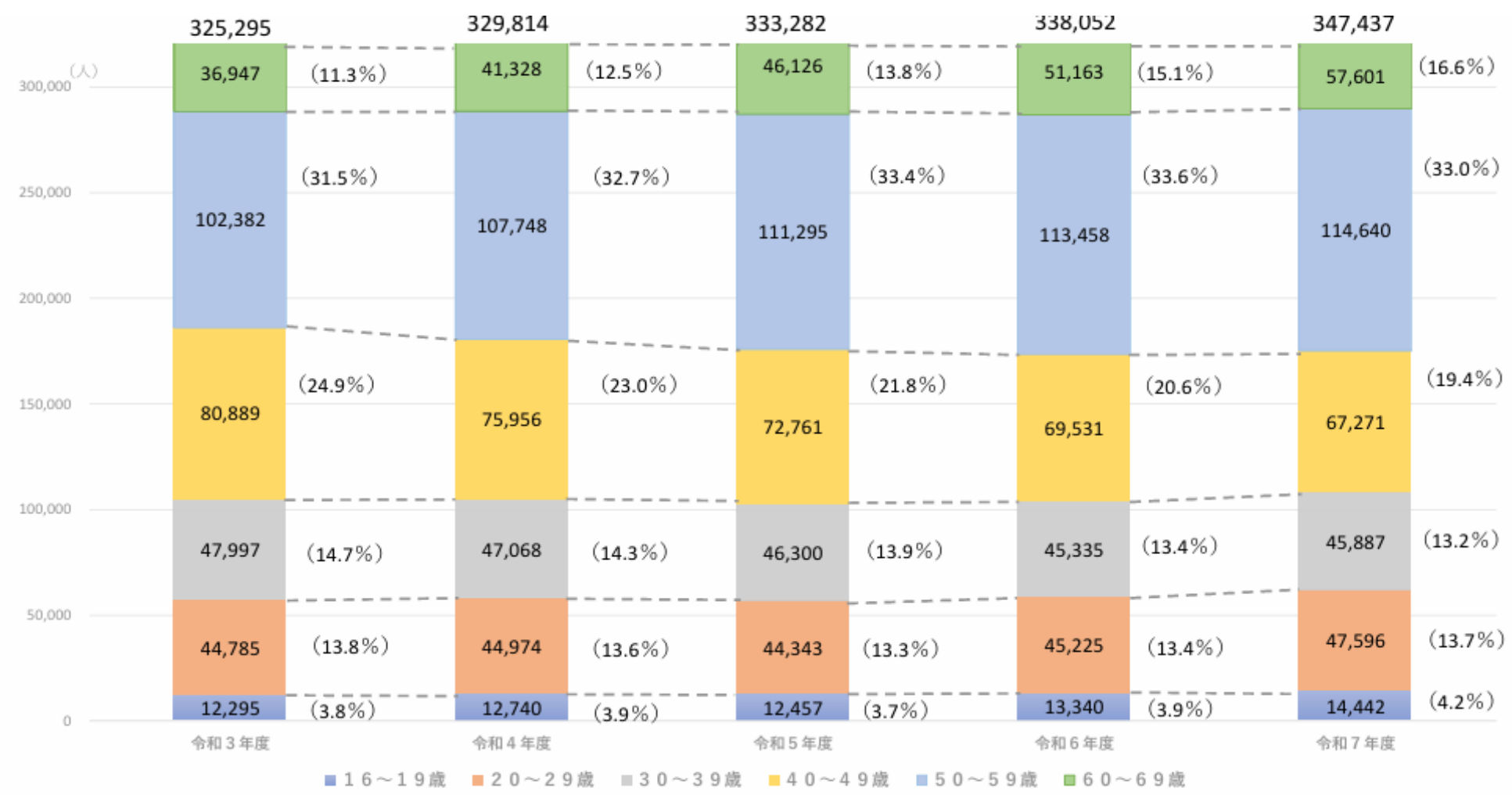
1.献血状況と令和8年度神奈川県献血推進計画の概要



Kanagawa Prefectural Government **R8献血目標量：156,465L（令和7年度比1,657L増）**

1.献血状況と令和8年度神奈川県献血推進計画の概要

年度別年齢別献血者数（神奈川県赤十字血液センター 令和7年度事業年報より抜粋）



Kanagawa Prefectural Government **R8献血目標者数：343,681人（令和7年度比1,022人増）**

1.献血状況と令和8年度神奈川県献血推進計画の概要

○目標達成のために必要な措置（主要なものを抜粋）

神奈川県が主となって取組む措置	神奈川県赤十字血液センターが主となって取組む措置
・献血コラボ事業 ・職員献血 ・献血推進協議会 ・献血功労者への表彰 など	・動画・SNS等による広報 ・若年層に向けた献血セミナー ・「愛の血液助け合い運動」など献血推進キャンペーン ・企業・大学・商業施設等への献血バスの配車 など



キッズ献血
Kanagawa Prefectural Government



「愛の血液助け合い運動」
ポスター



神奈川県学生献血
推進連盟による活動



「はたちの献血」
ポスター

2.計画を進めるにあたっての課題

○課題

【課題 1】

・献血推進計画の実施と並行して、令和9年度主催予定の献血運動推進全国大会の準備を進める必要がある

【課題 2】

・令和7年度献血推進協議会において、委員からご指摘のあった事業評価の実施方法等について検討する必要がある

例) どの取組がどれだけ献血量、献血者数に貢献できたのか、振り返りの実施

3.基本的な考え方と対応案

○対応案

【課題 1 について】

・県と赤十字各々の強みを活かして取り組む

→献血啓発・推進のノウハウを豊富に持つ赤十字が献血推進計画の目標達成をリードする

厚生労働省等、行政機関との調整に長けた県が全国大会の準備をリードする

【課題 2 について】

・事業評価の手法や事業の見直しに関する検討を丁寧に行うため、献血運動推進全国大会後に本格的に取り組む

説明は以上です。